

(別紙5)

整 理 番 号 2024P-167

補 助 事 業 名 2024年度 被災地および被災者受入地域における支援拠点、
ネットワークづくり活動 補助事業

補助事業者名 一般社団法人四番隊

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

令和6年能登半島地震による被害が広範囲かつ深刻であり、被災者支援を目的として、被災地の復旧に必要な技術的なサポートとボランティアの育成を実施。被災者のネットワークづくりを目的として、被災者向けイベントを開催し、心のケアを図るとともにコミュニティ作りを図り、早期復旧へつなげることを目指した。

(2) 実施内容

①石川県七尾市での支援活動

専門業務を行うスタッフを常駐させ、ニーズ調査を行いつつ、現地の自治体や他の支援団体と連携を取り、被災ゴミの搬出、運搬作業を実施。。高齢者の多い地域の為、被災時のまま片付けのままならない家屋が多く、被災家屋の整理や被災ゴミの仕分け、ゴミの運搬ができない方々の支援を実施した。



(別紙5)

ブロック塀の基礎撤去やの解体、屋根の解体廃棄、外壁の解体廃棄などを実施。
柱の修復や、剥がれてしまった外壁にブルーシートで養生、漏水箇所の修理など
個別のニーズにも対応、被災者の生活環境の改善を図った。



②石川県穴水町での支援活動

崩れてしまった屋根瓦の補修や屋根の養生、ブルーシート展張作業を実施。雨漏れの対応や、瓦が崩れてこないよう補修措置を行った。また地元ボランティアを育成するため技術指導を実施。高所での作業の為、安全に細心の注意を払い、ハーネスなどの装備の説明や作業時の危険性を十分に伝えるとともに、安全に作業を実施するための技術面での安全指導を実施した。



③その他

地域イベントの運営補助や被災者向けに、避難所へ整体師を招いてストレッチ整体や、ロスフラワー（綺麗なまま廃棄されてしまう花）を用いたフラワーアレンジメントのイベントを企画し、ニーズ調査を行うとともに、被災者の心のケアを図った。長期化している避難生活に疲労や痛みの緩和とともに、被災者の声に耳を傾けると、今回の地震により若い世代が転居してしまい、高齢化が加速、「以前の生活に戻るのには難しい」という苦悩が多々聞こえてきた。

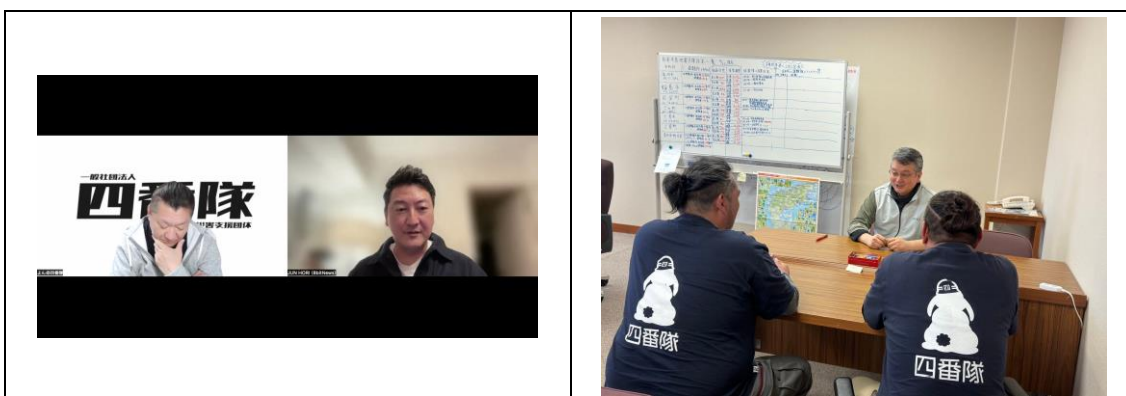
(別紙5)



七尾市においては被災ゴミ置き場が早期に閉鎖してしまったため、ゴミを捨てることのできずに困っている被災住民の声を届けるため、

七尾市情報共有会議やJV0ADと連携し情報共有を実施し、被災ゴミ仮置き場閉鎖に関する問題について取材や行政へ働きかけを行った。

JV0AD : [全国災害ボランティア支援団体ネットワーク](https://yonbantai.com/news3/) <https://yonbantai.com/news3/>



<https://yonbantai.com/category/houkoku/>

2 予想される事業実施効果

常駐スタッフの配置を通じてスムーズな連携が実現し、他の支援団体や自治体との協力体制の強化が図られ、被災者の具体的な要望や問題点を迅速に把握することで、必要な支援を的確に提供でき、被災者の生活再建が早期に進み、地域全体の復旧速度の向上が期待される。また、常駐スタッフが現地の自治体や他の支援団体と緊密に連携したことで、支援活動が効率化され、週末参加メンバーによる活動の効果が最大化される。

地域イベントやニーズ調査を通じて、被災地住民とのコミュニケーションが深まり、新たなニーズを把握することができた。これにより、今後の支援活動の精度が向上し、被災地での心のケアや地域活性化に寄与することができる。

単発的なボランティア活動だけでなく、長期的な支援活動および被災地域の住民とのイベントを通してのコミュニティ作りにより、災害時の統合的な支援ネットワークの構築に繋がり被災者支援の質を向上させることが期待される。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人四番隊（ヨンバンタイ）

住 所： 〒299-0263

千葉県袖ヶ浦市奈良輪319-506

代 表 者： 代表理事 伊藤 純（イトウ ジュン）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務担当 榎森 裕子（エモリ ユウコ）

電 話 番 号： 050-3637-0197

E - m a i l： ito019756@gmail.com

U R L： <https://yonbantai.com/>